【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	<u>揖斐川町家庭教育支援チーム</u> (呼称: 小島 子育て応援団)
②活動拠点	ゕ _{じ ま} 小島 コミュニティセンター
③活動範囲	^{ぉ ヒ ォ} 小島 地区の小学校区
④組織体制	<u>23 人</u> 応援団(地域住民のボランティア)
⑤活動開始年度	平成 26 年度
⑥問合せ先	(部署·氏名等) 小島公民館主事 衣斐 淳美 (TEL) 0585-23-1381 (E-mail)ojimakoumin@town.ibigawa.gifu.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	図保護者等への学びの場の提供
	図保護者等への地域の居場所づくり
	□アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)
	■ (□自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等)
	□保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等)
	□その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等)
	□その他()
•	☑乳幼児 ☑小学生(低学年) ☑小学生(中学年) ☑小学生(高学年)
②活動対象	☑中学生 □高校生以上
(複数チェック可能)	の子供を持つ保護者に対する活動を実施

	【具体的な活動内容】		
③活動内容	1. 乳幼児学級		
	未就園児とその保護者を対象に、毎月学級を開催し	ノ、保護者の横の繋	
	がりや応援団との縦の繋がりを作る。子どもたちの	体験や保護者の対	
	話の時間を大切にしている。		
	2. 子育て支援学級		
	小学生以下の親子を対象に、年7回、日曜日に開催	€。子どもがあらゆる	
	体験を重ねることを応援団がサポート。近年は、親	自身の体験不足か	
	ら、遊び方やその楽しみ方を知らない場合も多いた。	め、親子で経験する	
	ことで、子育ての楽しみ方のヒントにも繋げてもらう。		
	3. おじまぁーるLUNCH		
	コロナ禍で、子どもたちの遊びの体験や保護者同士	この繋がりが薄れて	
	いる課題に対応し、年に4回、遊びとごはんをセット(こした活動を行う。	
	4. その他		
	- 活動のなかで、応援団がサポートするだけでなく、中	□高生や子ども自身	
	が企画する場面も作っていきます。応援団の活動の	大切さや地域の役	
	にたてるという経験を積むことで、地域を想う心や自	己有用感に繋がっ	
	ていくことを期待しています。		
	- 乳幼児学級は、町内在住の方を対象として、28 組の3	 エントリーがあり、毎	
	 月 20 組程度が参加。乳幼児学級を卒業した保護者が、	そのまま応援団とし	
	て、サポートする側で活躍する流れが出来てきました。		
④活動の成果	地域に嫁いできた保護者らが、子育てをする仲間を	作り、積極的に地域	
(活動実績がある	の活動に参加するきっかけにもなっています。		
場合)	支援学級やランチは、毎回、100 人近い方が参加し、活動を楽しみにさ		
	れ、終わってからも保護者同士が話しをする場面が増え	てきました。地域の	
	皆さんもランチの野菜を寄付するなど、地域で子育てを	応援しようという雰	
	囲気が醸成されつつあります。		
	□文部科学省補助事業(事業名:)	
	□文部科学省委託事業(事業名:)	
⑥活動 財源	□厚生労働省事業(事業名:)	
⑤活動財源 (複数チェック可能)	□地方公共団体単独事業として実施		
	□特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)		
	図その他の支援により活動を実施		
	(公民館事業として活動)	